CLAIR トピックス ――最近のクレアの動きや所管国の状況等を短くまとめて紹介します

ニューヨーク事務所

日米姉妹都市間の交流事業促進のため米国南部の地方都市を訪問しました

2023年7月19日から20日にかけて、熊本市とその姉妹都市であるテキサス州サンアントニオ市間の交流の促進に向けて、コロナ禍後の現地状況の把握や情報交換、意見交換を行いました。

両市の姉妹都市提携は36年前の1987年に遡り、その2年後に造園された日本庭園「熊本園」は両市の交流連携のシンボルとなっています。この日本庭園の維持管理や、高校生の相互交流などにより、両市の交流は日米姉妹都市間のモデル的な交流となっています。今回は熊本市から依頼を受けて現地を視察し、交流を継続する上での課題や今後必要な取り組みを確認してきました。

同関係者からは、このような交流の維持には顔の見える関係と定期的な意見交換が必要であるとの観点から、当事務所の訪問を歓迎していただき、評価していただきました。

同市は、リバーウォークを中心に川辺を活用したまちづくりや観光の先進地であるほか、台湾や韓国、インド、中国、メキシコ、スペイン、ナミビア、ドイツなど、世界各都市との交流に積極的な都市であり、当事務所としても、サンアントニオ市との今後の連携のための関係構築を進めることができました。

近日改修予定の日本庭園「熊本園」

交換留学先の高校との意見交換の様子

ソウル事務所

料理体験教室を通じて日本の地方の魅力を発信！

2023年9月22日、クレアソウル事務所は、時事クック料理アカデミーとの共催で、愛媛県の郷土料理である「たいめし」、「いもたき」の2品を作る料理教室を開催し、日本に関心のある韓国人21名が参加されました。調理の前に、クレアソウル事務所による説明の時間を設定し、韓国から愛媛県へのアクセスや観光地、特産品など、郷土料理だけでなく愛媛県の魅力についても紹介し、その後、講師が詳しく調理方法の手順やポイントなどを説明し、参加者は教わった通りに真剣に取り組んでいました。

2時間ほどで、全員完成させることができ、大満足の結果となりました。

試食の際に、本日の料理に合う地元愛媛県産の日本酒「加儀屋」・「石鎚」をクレアソウル事務所から提供し、特徴やおいしい飲み方なども合わせて紹介しました。地元の日本酒とともに、自分で作った料理に舌鼓を打ち、愛媛の魅力を満喫した様子でした。

参加者からは、「愛媛県についての説明も興味深かった」「愛媛県に行ったことがあるが、料理の再現のレベルが高く、おいしかった」「次は実際に愛媛県に行って、本場の味を体験したい」などの感想が寄せられました。

今後も料理体験教室などを通して日本の魅力を発信していきます。

愛媛県について説明している様子

たいめし（左）、いもたき（右）

パリ事務所

「自治体国際活動フォーラム（AICT）」に出席しました

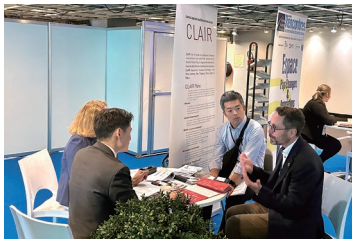
2023 年 9 月 18 日から 19 日にかけて、パリ市のシテ科学産業博物館でフランス都市連合（Cités Unies France = CUF）による「第 14 回自治体国際活動フォーラム（AICT）」が開催されました。2 年ぶりに開催されたフォーラムには、フランス国内外の自治体関係者を中心に、2 日間で約 500 人以上が参加しました。

フォーラムでは、本会議に加えて複数の分科会が開催され、クレアパリ事務所が出席した分科会では、来年度静岡市で開催される第 8 回日仏自治体交流会議に向け、フランス自治体関係者による意見交換が実施されました。クレアパリ事務所は、CUF と共に、日仏自治体交流会議の概要や静岡市の取り組みについてプレゼンテーションを行いました。出席者からは、会議のテーマや今後のスケジュールなどについて積極的に意見をいただくことができ、日仏交流への高い意欲を感じることができました。

また、クレアパリ事務所は会場の一角にブースを出展し、日本の自治体やクレアの活動について紹介を行いました。ブースではフランスの自治体関係者と、日仏自治体間交流の活動状況や交流の進め方などについて、対面での意見交換を行うことができました。

今後もクレアパリ事務所では、関係機関と連携しながら日仏間の国際交流活動の推進に尽力してまいります。

静岡市の取り組みについてプレゼンテーションを行うクレアパリ事務所長



クレアパリブースの様子

シドニー事務所

2032 年夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地ブリスベンで日本祭りに出展！

2023 年 9 月 2 日、2032 年夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地であるクイーンズランド州（QLD 州）ブリスベンにおいて、大規模な日本祭り「祭ブリスベン 2023」が開催されました。会場には約 70 の屋台やブースが並び、1 万人を超える来場者は、たこ焼きの屋台などに長蛇の列を作ったり、会場を練り歩く阿波踊り連に飛び入り参加したりと思い思いに日本の食や文化を堪能していました。

クレアシドニー事務所は、このイベントにブースを出展し、QLD 州内の自治体と友好関係にある日本の自治体から事前に提供いただいた観光パンフレットなどの配布を通じて日本各地の情報発信を行いました。

ブースに訪れた日本人の方々からは「自分が住む QLD 州内に、出身県内の姉妹都市があることを初めて知った」という声が複数寄せられ、故郷の意外な一面に驚く様子が印象的でした。また、「日本に旅行することだけを決めていて、具体的な行先はこれから考えようと思っていたところだった」と、情報収集に精力的な現地の方々に大勢応対させていただき、対面での情報発信の必要性を再認識する機会となりました。

ブース来訪者の質問に答えるクレアシドニー事務所職員

ブースから見えた会場を練り歩く阿波踊り連

ロンドン事務所

再開発が進むロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会跡地を訪問しました

2023 年 8 月下旬に、ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会（2012 年開催）の跡地であるクイーンエリザベスオリンピックパークを訪問しました。ロンドン東部にある 4 つの地域にまたがる広大な公園で、この中には、ショッピングなどの娯楽施設だけでなく、スポーツ施設や大学なども設けられており、学生や家族連れの人々で賑わっていました。また、公園の北西に位置する HereEast という施設は、さまざまな大学のキャンパスや企業のワークスペースとして利用されており、イノベーションや交流を促進する場となっています。

今回の訪問では、オリンピックパークおよび HereEast の職員にご案内いただき、施設内を視察することができました。HereEast 内に 2017 年にオープンしたスタートアップ支援施設では、スタッフ約 70 人のもと、現在約 800 人がこのワーキングスペースを利用しているそうです。

2025 年には、ロンドン内でも人気の高い美術館の 1 つであるヴィクトリア・アンド・アルバート美術館の東館がこの公園内にオープンする予定であり、今後益々の発展が予想されます。

HereEast

スタートアップ支援施設「Plexal」

北京事務所

ABC Cooking Studio と連携した徳島県の魅力 PR イベントを開催しました

2023 年 8 月 26 日、クレア北京事務所は、上海市の ABC Cooking Studio 万象城店において徳島県の観光 PR や郷土料理の調理体験イベントを開催しました。

イベントには約 30 名の方が参加され、フィッシュバーガー、すだちゼリー、鳴門金時酢豚鶏団子の調理体験に挑戦しました。あわせて徳島県職員による観光 PR や記念品が当たるクイズ大会を実施し、終始和やかな雰囲気で開催できました。

参加者からは、「現地の文化を体験してみたい」「観光スポットについても深く知ることができ、実際に行ってみたくなった」といった声が多く聞かれました。本事業を通じて、中国の方の日本の食・観光に対する強い興味や関心、インバウンド施策の重要性を感じ取ることができました。

集合記念写真

盛況を博したクイズ大会

シンガポール事務所

スラバヤよさこい祭り 2023

2023 年 7 月 16 日、インドネシア・スラバヤで「スラバヤよさこい祭り 2023」が高知市、スラバヤ市、在スラバヤ日本国総領事館の共催により開かれました。

スラバヤよさこい祭りは、2003 年に高知市とスラバヤ市の姉妹都市交流をもとに第 1 回が開催されました。以降、スラバヤ市民の年中行事として開催されてきたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で中断され、今回が 4 年ぶりの開催となりました。

開会式の様子（右から 3 番目は岡崎高知市長）

踊り子の総踊り

よさこい祭り当日は、子ども 11 チーム、大人 11 チームの計 22 チームが参加し、踊りを披露しました。会場で配布されたパンフレットには、高知市で生まれたよさこい踊りはスラバヤ市の人々に広がっていて特に 10 代の若者に楽しまれている、と紹介されており、各チームの踊りに来場者は魅了され、合いの手や歓声が会場であるスラバヤ市役所前広場に響き渡るなど、イベントは大盛況でした。

多文化共生課

2023 年度多文化共生事業事例集を公式サイト上に公開しました

クレアでは、多文化共生のまちづくり促進事業を実施し、地域の国際化や多文化共生の推進を支援しています。

多文化共生事業事例集は、この助成事業により得られた成果を広く紹介し、他の団体の参考としていただくために作成したものです。今回は 2022 年度に実施された事業のうち、11 事業を選定しています。

本事例集では、各団体が創意工夫を行い、事業に取り組んでいる様子や、担当者の所感などを掲載しています。事業を実施した各団体に執筆いただいたこともあり、団体ごとの特色が現れた記事となっています。また、先進的な事業や各地域での共通課題に取り組まれている事業も多く、全国の各自治体・地域国際化協会などにおいて、事業を推進する際に参考となる点も多いものと思われます。

今年度より、本事例集を多文化共生ツールライブラリーでも公開しました。キーワード検索により、過去の事例を含め簡単に探すことができます。ぜひ、本事例集を地域における多文化共生の推進にお役立てください。

また、多文化共生のまちづくり促進事業は例年 8 月から 9 月にかけて翌年度事業の公募を実施しております。2025 年度事業募集は 2024 年の夏頃を予定しています。引き続き、各団体の積極的なご活用をお待ちしています。

URL:
(多文化共生事業事例集)
https://www.clair.or.jp/j/multiculture/shiryou/r3.html
(多文化共生ツールライブラリー)
https://www.clair.or.jp/j/multiculture/tool_library/
(多文化共生のまちづくり促進事業)
https://www.clair.or.jp/j/multiculture/kokusai/page_8.html

ツールライブラリー画面

事例集　一例

JET プログラム事業部

翻訳・通訳講座（集合研修（中・韓・葡））を実施しました !!

2023 年 9 月 4 日から 8 日にかけての 5 日間、全国市町村国際文化研修所（JIAM）と共催で、翻訳・通訳講座（集合研修）を実施し、全国から 46 名の JET プログラム参加者が集いました。

本研修は、翻訳や通訳に関するスキルの向上を目的とし、プロの翻訳・通訳者から直接指導・アドバイスを受けながら、講義や実践的な訓練を集中的に行うものです。今年度は中国語・韓国語に加え、ポルトガル語の計 3 コースを開講しました（英語は 2 月に開講予定）。

各言語とも受講者は 15 名程度の少人数での講義であったため、講義中は各人が活発に講師と言葉を交わし、知識を習得していました。最終日には司会や通訳者、パネリストなど役割を決め、模擬シンポジウムを行い、知識の定着度の確認をしました。

短期集中型の講義であり、日々の課題にも対応するなど、受講者にとってはハードな日程であったと思いますが、5 日間を通じ、確実にスキルを向上させることができた、実りある研修となりました。

開講式の様子

講義の様子（ポルトガル語）

交流親善課

2024 年に第 8 回日仏自治体交流会議を静岡市で開催します！

日仏自治体交流会議は、日仏両国の自治体が一堂に会し、両国の自治体が抱える共通の行政課題や先進施策などについて発表・議論することで、両国の地方自治の発展に寄与することを目的に開催しています。

日本側開催となる次回会議は、2024 年 11 月 18 日（月）から 21 日（木）にかけて静岡市で開催することが決定しました。テーマは「日仏自治体のパートナーシップがもたらす新しい価値」とし、経済、社会、環境の各側面からフランスの自治体と意見交換を行うことで、新しい持続可能な政策モデルの共創を目指します。

2023 年 9 月に開催されたフランス側推進委員会では、コロナ禍を経て日本との交流を心待ちにする現地の自治体が数多く出席するなど、フランスにおける本会議への関心も高まっています。

第 8 回会議は、フランスと姉妹都市交流などを行っている自治体だけでなく、フランスとの交流に関心のある全ての自治体にご参加いただけます。

詳しくはクレアのホームページへ！
http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/nichi-futsu.html

第 7 回エクサンプロヴァンス会議の分科会発表

第 8 回静岡会議にぜひご参加ください！

経済交流課

海外での地域産品のテストマーケティングを実施します！

クレアでは、海外へ進出しようとする地域の事業者支援を行う自治体のために、地域産品のテストマーケティングと販路開拓を目的とした「日本ふるさと名産食品展」（物産関係支援事業）を開催しています。

この食品展は、2021 年度以降、米国・ニューヨークにて開催してきましたが、2024 年度は、全米最大級の日系食品展示会「Japanese Food Expo」の開催期間中に、同会場内（ニューヨークおよびロサンゼルス）での実施を予定しています。

【2024 年度日本ふるさと名産食品展概要（予定）】

○対象事業者
- 海外販路開拓に初めて挑戦する事業者
- 輸出経験が少なく、輸出入の実務的な手続きを体得したい事業者
- 「世界の情報の発信地」北米市場での販路開拓を目指す事業者

○時期：2024 年 10 月
○会場：①ニューヨーク②ロサンゼルス
※いずれも「Japanese Food Expo」内で実施予定
事業の詳細は、今後、経済交流課ホームページで公開予定です。
http://economy.clair.or.jp/activity/exhibition/exh-past/

■お問い合わせ　経済交流課
Tel：03-5213-1726　Mail：keishin@clair.or.jp

2022 年度の食品展会場の様子